

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

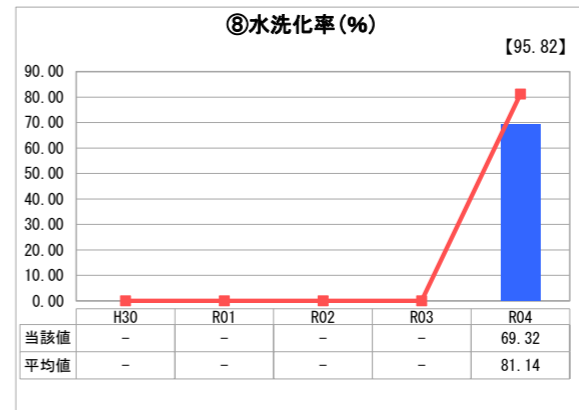
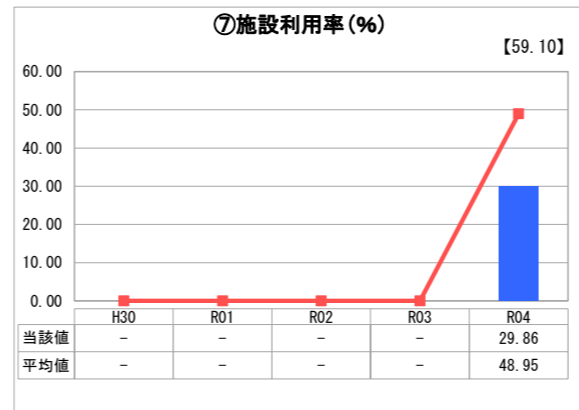
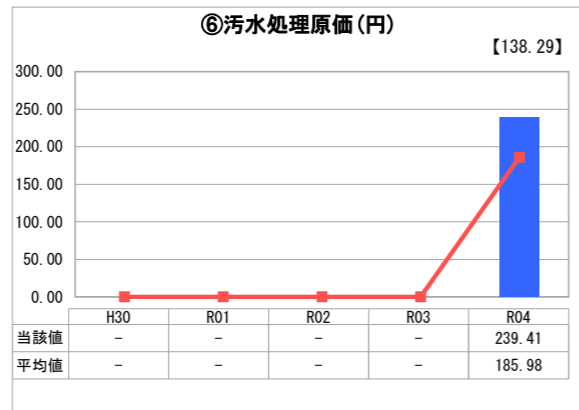
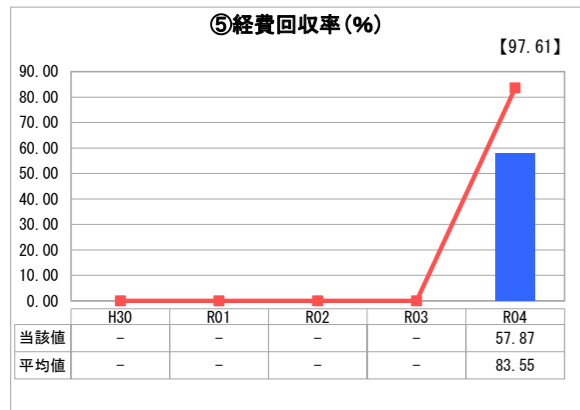
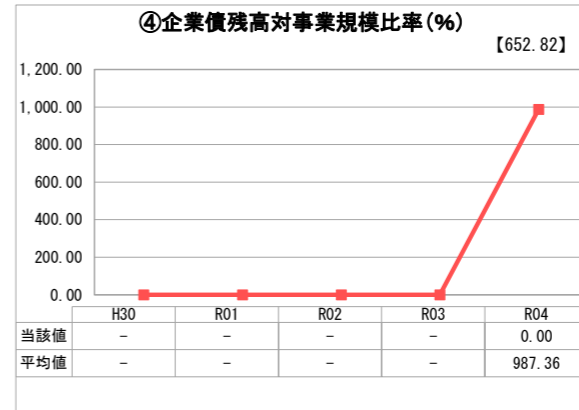
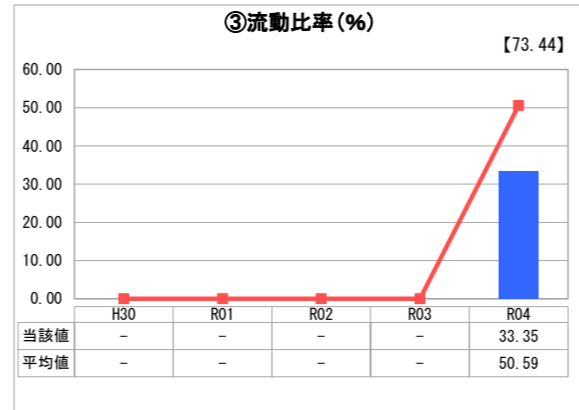
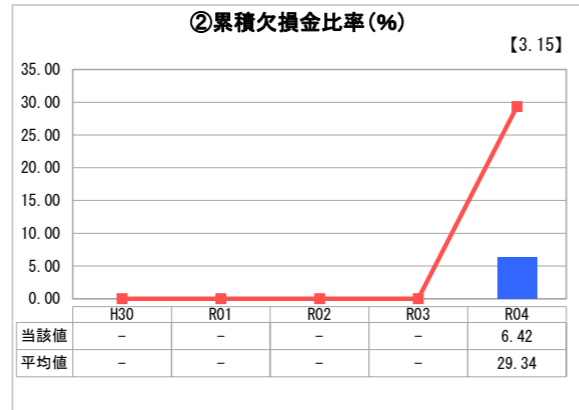
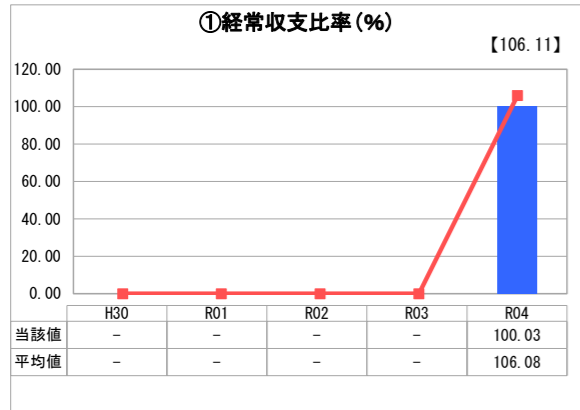
和歌山県 みなべ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	52.01	80.47	100.00	2,750

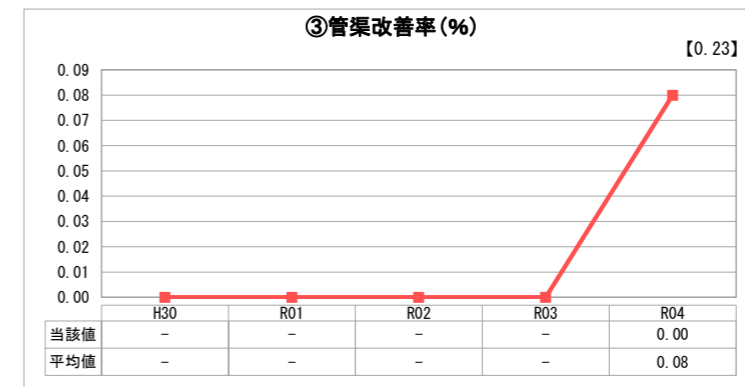
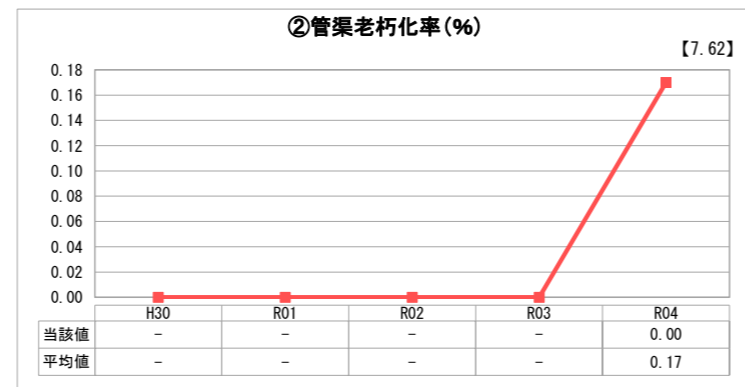
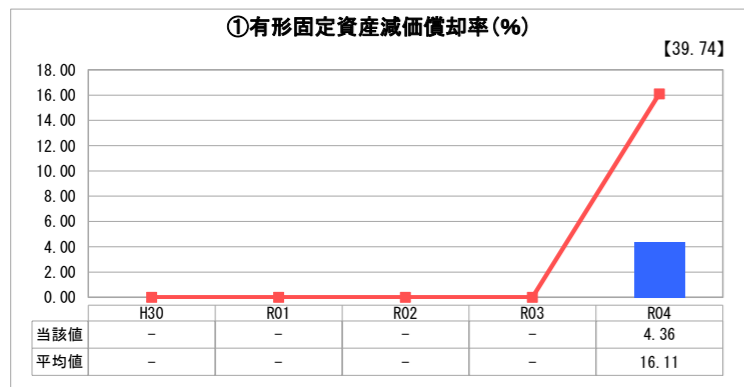
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,988	120.28	99.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,586	2.88	3,328.47

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度の収支比率については100%を超え黒字となったが、類似団体及び全国平均より下回った。経費回収率においても法非適用であった昨年と比べて高くなったものの依然として平均を大きく下回っており、企業債の償還額が大きいこともあり、収入については一般会計からの繰入金に依存している状態である。経営の健全化を図るため、使用料の改定を行う必要が今後出てくる可能性があるが、先に、町外で行っているし尿処理を町内施設で行った場合の費用対効果や借入の方法等、減価償却費を除く営業費用を営業収益で賄えるよう、さらなる経費削減について検討したい。

水洗化率の低さについては令和3年度に整備が完了し、公共下水道区域が広がったため、接続率の向上のための取り組みが課題となっている。

### 2. 老朽化の状況について

構築物等、修繕や更新を行いながら、現在耐用年数が経過しているものはない状況である。法適用となり、今後はより適切な資産管理ができるため、将来の更新時期を見据えて計画的な管理を行う必要がある。

## 全体総括

令和4年度より法適用となり、経営の自由度が上がるとともに、今後健全な経営を行っていくためにより細かな分析を行うことが可能・必要となった。一般会計からの繰入に依存する現状から改善していくため、また、今後の施設等の老朽化に備えるため、経営戦略の改定を含め検討したい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。